

図書館だより

「本を読む人」＝「私」

図書館長 村田 和穂



皆様、こんにちは。今年度から図書館長を務めることになりました一般教育科（英語）の村田です。十年以上の長きにわたって図書館長を務められた焼山廣志先生が定年によりご退職されたことに伴い、その大役が私に廻ってきました。そもそも「〇〇長」というのは、私の性^{しょう}に合わないし、焼山先生のような教養、さらには行動力や社交性を持ち合わせていない私には荷が重いと、最初は躊躇しました。それでも引き受けたのは、本が好き、図書館という場所も好き、という単純な理由からです。

有明高専の学生の皆さんは、本は読みますか？ 私は子どもの頃から、勉強はあまりしませんでした、本だけは読んでいました。友達と外で遊ぶ事も好きでしたが、家の中で本を読んだりして一人で過ごす方がずっとリラックスしていたような気がします（小学生の時にハマっていたのはポプラ社から出ている江戸川乱歩の「少年探偵」シリーズ、将来の夢は探偵でした！）。このような少年期を過ごしたので、高校1年生の夏休みに、「新潮文庫の100冊」のキャッチ・コピーに使われていた【ひとりになったら本を読む。】という言葉を書店で目にし^{注1)}、強い印象を受けました。このシンプルなメッセージは、当時の何かに飢えていた、というか乾いていた私の心にすっと沁み込み、「うん、そうだな。自分はこれでいこう」と思ったことを今でも覚えています。以来、35年以上、自分なりに実践しています。今でも一人で外出する際、手持ち無沙汰な時間は携帯している文庫本をたいてい読んでいます（ちなみにスマホは持っていません）。このような性向は自分の専門分野である「英語文献学」という学問にも好都合で、基本はテキストを「正確に読む」ことなので、研究自体が趣味と実益を兼ねていると言えます。そういえば、現在高校生の娘が小学校に上がった頃、「パパの仕事って、本を読むだけなんですよ？」と無邪気に質問してきたことがあります。あの時は正直傷ついたけれど（一応「教員」の仕事もしてるんですけど・・・）、よくよく考えると、実に的を得た指摘であることに気づかされ、自分のアイデンティティは「本を読む人」でよいのだ、と再確認した次第です。

私が飽きもせず本を読み続けているのは、楽しいということもありますが、より正確に言えば、気持ちが落ち着くからなのです。もちろん、読んでいてハラハラドキドキする本もあれば、時には筆者の意見に反発したり、登場人物の言動に嫌悪感を抱いたりする本もありますが、読み終わった後は、不思議とざわついてた心が静まり、結果、全てが良い経験になっています。要するに、読書は私の心というか魂の「糧」（時には「薬」）なのですね。したがって、私にとって「本を読む」という行為は、朝顔を洗ったり歯を磨いたりするのと何ら変わらない、ごく日常の習慣になっています。

ところで、私は高校生の頃から外国の小説を読むことが大好きで、当然ながら翻訳に頼ることになるのですが、読んでいてわからないところがあると、自分の読解力不足は棚に上げ「訳者が間違っているのでは？」と疑問を持つようになり、そのうちに「原文は何と書いてあるのだろう？」という好奇心が芽生えてきました。せめて中学校から学んでいる英語で書かれた本くらいはきちんと読めるようになりたい、という切実な想いが今の私を形成しています（余談ですが、読書に加えて音楽と映画も私にとってなくてはならないもので、私の「精神性^{な か み}」は「読書（50%）＋音楽（30%）＋映画（15%）＋その他（5%）」を養分にして成り立っています。というわけで、図書館は本だけでなく、音楽や映画とも関わる部分があるので、この関係についてもいつかこの欄でお話しできたらと考えています）。



最後に学生の皆さんに、私が高1の時に感銘を受けた【ひとりになったら本を読む。】という言葉を送りたいと思います。当時に比べ、現在は「一人になった時に何をするか」に関する選択肢はスマホを媒介にして無数に増えています。このような時流のなかで、紙媒体の本を実際に手にとってページをめくる行為は、いかにも地味で古臭い印象を与えるかもしれません。しかし、もしあなたがSNSやゲームに興じた後に、一抹の「虚しさ」を感じる事があれば、本を読むことをお勧めします。何を讀んだらいいのかわからない時は、まずは図書館に足を運び、書架の間を歩きながら、本の背表紙だけでも眺めてみませんか？ 面白そうなタイトルの本があれば、手に取ってみてください。その本は「私を讀んで」とあなたに強く訴えかけているのです^{注2)}。人と本との出会いは、人と人との出会い劣らず、本質的にロマンティックなもので、時には「深い関係」に発展することもある、と私は強く信じています。

注1：1981年のコピーより。当時の「新潮文庫の100冊」のコピーは毎年印象的で、その多くが筆者の心に刻み込まれている。

注2：1996年のコピー【「ワタシヲ、読ンデ」、その本は言った。】より。

「第1回ブックハンティング」を開催しました。

「ブックハンティング」とは、図書館に置きたい本を書店に行って直接選んでもらうイベントです。

今回は4名の学生に参加してもらい、幅広いジャンルの中から、28冊の本を選んでもらいました。

年末に第2回を予定していますので、是非参加してみてください。



ディスプレイ（特設コーナー）

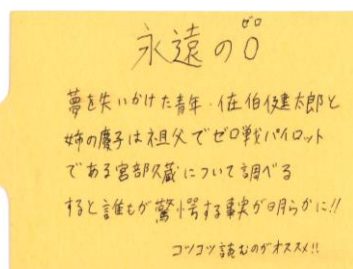


書店前

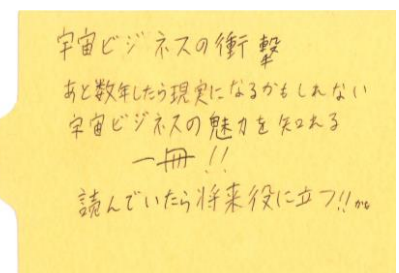
	書籍名	著者		書籍名	著者
1	みんなちがって、みんなダメ	中田 考	15	ノモンハン秘史 新書版	辻 政信
2	ふくふく、お肉	赤瀬川 原平	16	AIのある家族計画	黒野 伸一
3	250万分の1の留学	ジャパンタイムズ	17	宇宙ビジネスの衝撃	大貫 美鈴
4	下町ロケットゴースト	池井戸 潤	18	1分で話せ	伊藤 羊一
5	毒物ずかん	くられ	19	ゴロツキはいつも食卓を襲う	福田 里香
6	陸王	池井戸 潤	20	アンソロジー餃子	池田 満寿夫
7	永遠の0	百田 尚樹	21	大人の語彙力ノート	齋藤 孝
8	ハンニバル戦争	佐藤 賢一	22	龍の耳を君に	丸山 正樹
9	論理ガール	深沢 真太郎	23	スイート・ホーム	原田 マハ
10	文学効能事典	エラ・バーサド	24	ただかおる洋菓子研究室のマニアックレッスン	ただか かおる
11	ヒトラー暗殺計画とスパイ戦争	ジョン H. ウォラー	25	青少年のための小説入門	久保寺 健彦
12	青くて痛くて脆い	住野 よる	26	水槽の中	畑野 智美
13	肉小説集	坂木 司	27	死神の浮力	伊坂 幸太郎
14	鶏小説集	坂木 司	28	工場	小山田 浩子

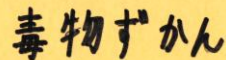
《今回参加した学生4名の選書の一部を紹介します。》

本人のハンドメイドのPOPを添えて、図書館特設コーナーに配架していますので、是非、ブックハンター達の選りすぐりの珠玉の一冊をご覧ください！



創造工学科1年
原田 直人さん





大人の語彙ノート

下町ロケット

文学效能事典

「水槽の中」

「ゴロツキはいつも食卓を龍う」

「アンソロジー 餃子」
30人を超える作家たち
の餃子にまつわる
エピソード 巻末！
ぜひご賞味あれ！

餃子
アンパンマン

池田典夫・鹿島武・石田芳
すけ・佐藤人・ウ・ウ・
達郎・太田和雄・甲斐大
・角田代・片岡真・黄美
・菊谷基・馬井利シ・
タロウ・小泉武・小笠
・小林久代・今村・豊
・堀名誠・東海林た・熊竹
・田中・野中・井井子
・林家蔵・ババ・武山
・平松淳・藤原・吉川
・高橋・村瀬・室井
・森の・山口・山本
力・西田天彦・渡辺祥子・渡
辺眞也・宮・室・金子
カサもいろいろ

尾崎加代様より4点の大作が寄贈されました。

INFO

画家の尾崎加代様より、絵画4点の寄贈がありました。尾崎加代様は本校元校長尾崎龍夫氏(第8代校長／本校名誉教授)の奥様であります。尾崎元校長には、この美術ギャラリー創設の礎を築いていただきました。そのご縁で今回更なる美術ギャラリーの発展に寄与できればとのお話を受け、平成30年7月10日(火)に寄贈式を開催し、感謝状の贈呈を行いました。

寄贈絵画4点はすべて受賞に輝いた作品です。ゆっくり名作をご鑑賞ください。

校長室



「陽春」

第17回青木繁記念大賞公募展入選

図書館1階エントランス



「BELLES FEMMES」

2009年第1回青木繁記念大賞
西日本美術展入選

知の集い処1



「麦秋」

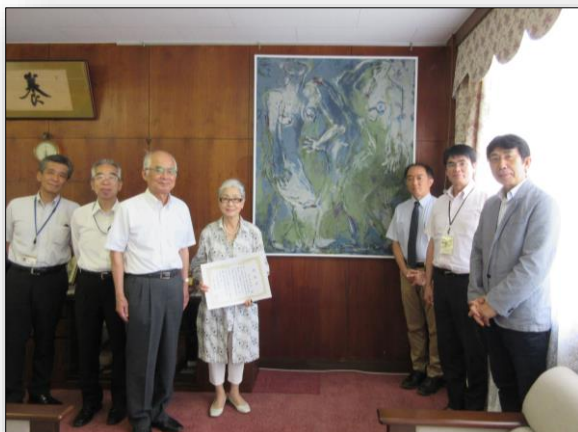
2009年第術展1回青木繁記念大賞
西日本美奨励賞

知の集い処3



「風」

上野の森美術館大賞展入選



寄贈式(校長室)にて寄贈絵画を前に記念撮影
(左から3番目が尾崎龍夫元校長、4番目が尾崎加代様)

図書館統計

■平成29年度利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	23	23	26	23	19	19	23	22	20	20	18	18	254
入館者数 総数	3,766	6,585	5,606	6,904	2,999	1,359	3,123	5,588	2,864	3,947	4,565	1,010	48,316
(内夜間)	552	1,163	706	1,232	213	0	410	1,018	358	479	608	0	6,739
(内土曜日)	98	177	243	269	0	0	52	191	102	78	121	0	1,331
1日平均	163.7	286.3	215.6	300.1	157.8	71.5	135.8	254.0	143.2	197.4	253.6	56.1	190.2
貸出冊数 総数	375	270	448	693	392	138	416	236	229	642	266	81	4,186
(内夜間)	48	68	74	75	41	0	59	26	37	124	50	0	603
(内土曜日)	4	4	18	41	0	0	8	3	2	14	11	0	105
1日平均	16.3	11.7	17.2	30.1	20.6	7.3	18.1	10.7	11.5	32.1	14.8	4.5	16.5

■分類別図書貸出冊数の推移

年 度	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学(*1)	産業	芸術	語学	文学	多読	その他(*2)	合計
平成25年度	100	41	71	48	559	1,271	9	50	94	848	-	320	3,411
平成26年度	60	24	89	68	561	892	5	53	181	595	-	1,258	3,786
平成27年度	0	49	39	53	149	1,596	6	44	115	671	2,039	1,078	5,839
平成28年度	0	45	50	46	176	1,353	7	80	222	560	3,752	575	6,866
平成29年度	26	36	20	18	126	932	7	39	26	458	1,705	709	4,186

*1 H27年度以降の「工学」は、007情報科学、430-439化学、460-469生物一般の貸出冊数が含まれる

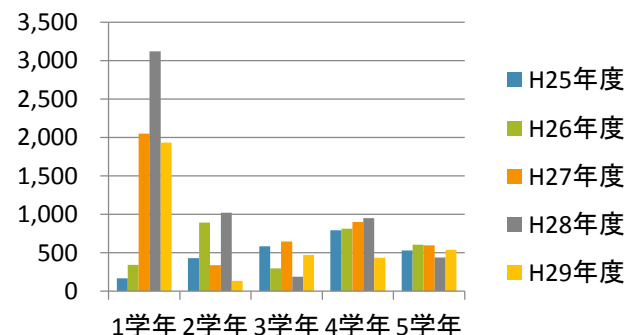
*2 「その他」は、文庫・新書および雑誌の貸出冊数を示す

■利用状況の推移

年度	開館日数	利用登録状況				入館者数		貸出冊数				1日当たりの数値		1人当たりの数値	
		総数	(内学生)	(内教職員)	(内学外利用者)	総数	(内夜間、土曜日)	総数	(内学生のみの貸出冊数)	内夜間、土曜日	(内学外利用者)	1日当たり入館者数	1日当たり貸出冊数	学生1人当たり貸出冊数	利用者1人当たり貸出冊数
平成25年度	269	1,280	1,082	123	75	47,994	11,350	3,411	3,061	949	32	178.4	12.7	2.8	2.7
平成26年度	269	1,277	1,082	120	75	51,758	11,216	3,786	3,362	1,064	189	192.4	14.1	3.1	3.0
平成27年度	271	1,346	1,085	250	11	51,233	13,137	5,839	5,293	1,448	546	189.1	21.5	5.4	4.3
平成28年度	260	1,428	1,138	277	13	60,822	9,376	6,866	6,392	1,286	82	233.9	26.4	6.0	4.8
平成29年度	254	1,340	1,140	188	12	48,316	8,070	4,186	3,865	715	106	190.2	16.5	3.7	3.1

■学年別図書貸出冊数

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1年	専攻科2年	合計
平成25年	169	432	586	794	529	—	—	2,510
平成26年	345	894	296	815	604	—	—	2,954
平成27年	2,052	341	646	903	599	506	246	5,293
平成28年	3,120	1,021	190	951	441	377	292	6,392
平成29年	1,933	134	472	433	541	180	172	3,865



編集後記

スポーツの秋！食欲の秋！秋にもいろいろありますが、今年は読書も加えてはどうでしょうか？とはいえ、秋も、もう晩秋です。さあ、図書館へ行こう！図書館では、近々、旭製作所様より約160冊の図書が寄贈されます。また、11月10日(土)には、図書館棟1階美術ギャラリーの作品の入替えを行います。お楽しみに！ [図書館 原賀]